



平成 29 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 ラオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 羅 怡 文
(コード番号 8202 東証第2部)
問合せ先 経営企画部部長 田野 大地
(TEL 03-6852-8881)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月期の第2四半期において下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 14 日に公表した平成 29 年 12 月期(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

下記のとおり、87 百万円の特別損失を計上いたしました。

(内訳)

国内リテール事業における店舗閉店に伴う店舗整理損として 11 百万円

国内リテール事業において1年以内に閉店等が予定されている店舗についての減損損失として 76 百万円

2. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	81,000	2,000	2,000	—	—
今回修正予想 (B)	63,500	100	150	—	—
増 減 額 (B-A)	△17,500	△1,900	△1,850	—	—
増 減 率 (%)	△21.6	△95.0	△92.5	—	—
(参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	62,764	△955	△1,012	△1,527	△23.57

(注)平成28年7月1日付で、普通株式について10株を1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 修正の理由

当社グループは今期、既存の物販事業だけではなく、「モノ+コト」のあらたな取り組みを展開いたしております。また、不採算店舗の見直しや人材の有効活用などコストの合理化と生産性の向上をはかっており、その効果は確実に出てきております。しかしながら、インバウンド市場は緩やかに回復しているものの、当社が予測していたスピードより遅く、当社免税事業におけるレジ通過数は前年同期比94.2%、レジ通過単価は前年同期比△5,654円となるなど、売上が当初年間計画に対し進捗度34.8%と伸び悩み、現時点において、当初計画していた数値の達成は困難な見込みとなったため、業績予想を上記のとおり修正することとなりました。

一方で、今期夏季シーズンにおいては好調に推移しております。7月以降の当社免税事業におけるレジ通過数は前期を越えるペースに転じてきており、特に、クルーズ船需要の高い九州地区では前期比120%を超える実績があがってきております。これらの事から、当下半期のレジ通過数とレジ通過単価は前下半期を上回る水準まで改善する見込みです。また、千葉ポートスクエア ポートタウンのオープンやJCL(ジャパンコスメラウンジ)などの、「モノ+コト」の新しい事業展開も拡大してきております。

今期下半期においては組織変更した4つの事業展開に加え、当初から行っている生産性の向上の効果と合わせることで、売上と利益を最大化させるべく取り組んでおります。これらにより、前期第3四半期から続いている赤字からのスピード回復を目標とし、全社一丸となって取り組んでまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上